

## 外部評価委員指摘事項

### (1) 全体の評価

(長尾順子 沖縄県教育庁義務教育課指導主事, 生田孝至 前新潟大学副学長)

- ・PDCA がしっかりしている。
- ・教員がと学生個人と関わっているが、今後は「学生から教員」も大切である。
- ・卒業後の追跡調査が必要である。
- ・大学は、入り口と出口がすべてであるが、中味の評価も大切である。
- ・就職率 98% とほぼ 100% を誇っていることは、出口の保証ができており社会が卒業生を求めている。
- ・ループリック, 学修ポートフォリオが, 教員ベースで検討する機会が必要である。
- ・きめ細かな教育が行われている。

### (2) 各学科・専攻の評価

#### 1) 健康栄養学科

(福富 悌 福富医院院長, 貝谷春則 岐阜県高等学校 PTA 連合会副会長)

- ・三つのポリシーが明確で, 管理栄養士試験の合格率が向上している。
- ・臨地実習が学生のやる気を起こさせており, 就職にも繋がっている。
- ・理系女子の教員を増やしていただきたい。
- ・PDCA が明確である。
- ・取得できる資格がホームページで明確になっている。

#### 2) 生活科学科 生活科学専攻

(藤木節子 岐阜県立岐阜城北高等学校校長)

- ・教員・学生同士よく勉強している。
- ・他大学でも言えるが, 体験・忍耐力が少ないので今後必要である。
- ・裁縫は日本の伝統文化であり, 今後の「力」にして頂きたい。
- ・岐阜女子大学の「良さ」を残して頂きたい。
- ・岐阜県出身の学生が少ないことは, 「岐阜女子大学」が県内に周知されていないのではないか。(岐阜県内に知られていないのではないか。)

### 3) 住居学専攻

(田頭能成清水建設株式会社名古屋支店副支店長)

- ・住環境のスペシャリストを養成していただきたい。
- ・ユーザーのニーズに対応するためには、コミュニケーション能力・共同作業が必要である。
- ・モノづくりには情熱が必要であり、達成感が得られる。

### 4) 文化創造学専攻

(早川三根夫岐阜市教育委員会教育長)

- ・教員の養成・採用のためには、大学と教育委員会が協同し連携する等発想の転換が必要である。
- ・学校教育現場では、i Pad が根本的に必要である。
- ・i Pad が学校現場で使えるように教育して頂きたい。
- ・PDCA が廻っている。

### 5) 初等教育学専攻

(小関雅司 静岡県教育委員会学校教育課高校再編整備室長)

- ・学校では「イジメ」があり少なくするような対応（教育）をして頂きたい。
- ・学生自身のPDCAが必要ではないか。
- ・学生の「主体的な学び」が必要ではないか。
- ・善悪の判断がつかない者が多い。

(家庭・保護者の再教育が必要であるのではないか。)